３　【拡充】発達特性のあるこどもや困難を抱えるこどもへの支援　　６，８９１万円

発達特性のあるこどもや不登校の児童・生徒など、困難を抱えるこどもに寄り添った支援の強化に取り組みます。

【拡充】５歳児相談事業の拡充　46万円

就学に向けて適切な支援や相談に繋げることを目的として、社会性が伸びる時期でもある年中児を対象に「５歳児相談」を実施し、支援ニーズのあるこどもの支援について所属園と検討します。
令和７年度は、対象を公立園に加え民間保育所等の一部まで拡大します。

【拡充】教育支援指導主事、校内中間教室支援員の増員　6,686万円

児童生徒の個性に応じた多様な学びの保障と不登校傾向のある児童・生徒の支援のため、教育支援指導主事を増員するとともに、校内中間教室支援員を新たに配置し、校内中間教室の充実を図ります。

【拡充】不登校児童生徒支援事業交付金の拡充　159万円

不登校児童生徒の多様な学びの機会を支えるため、民間フリースクール等を利用する家庭に対する助成を行います。また、民間フリースクール等との連携を深め、事業運営についての相談、支援等を行っていきます。

（こども課【内5350】・学校教育課【内3712】）

４　【新規・拡充】飯田学園構想の展開　　８８７万円

義務教育９年間の学びの系統性と連続性を高め、地域の特色を生かした学びを通して、児童生徒が生涯にわたって主体的に、また、他者と協働しながら生き抜いていける力の基礎をこれまで以上に育む飯田学園構想を推進します。

【新規】学園地域コーディネーターの設置　637万円

「飯田学園構想」の推進に向け、９つの学園に１名ずつ「学園地域コーディネーター」を配置し、９年間でめざすこども像の協議・決定や特設教科「みらい創造科」のカリキュラムづくりなどを支援し、学園内の小中学校間連携や各地域の連携を深めます。

【拡充】キャリア教育学校交付金の拡充　250万円

「飯田学園構想」における小中一貫教育の充実に向け、「キャリア教育学校交付金」の対象事業に学園としての事業を加え、学園内の学校間交流や連携事業を推進します。

（学校教育課【内3712】）

５　【新規・拡充】学校部活動の地域クラブ活動への移行の推進　　１，７１９万円

地域の文化芸術・スポーツ環境の充実に向けて、持続可能な体制づくりを進めます。

- 指導者不足についての課題を解決するために、部活動指導員を増員し地域で活動する指導者を確保するとともに、研修会を開催して指導の質の向上を図ります。
- 現在、学校部活動で実施している種目や分野を中心に、地域クラブが持続可能な運営体制を構築できるよう、地域クラブ設立や活動の充実に必要な支援を行います。
- 学校部活動の地域クラブ活動への移行に伴い参加費等保護者の負担が増加する点を考慮し、生活困窮家庭を対象に参加費の補助を行います。
- 関係団体と連携して、スポーツ・文化芸術活動に親しむ機会としての体験スポーツスクールや文化講座等を開催します。

体験文化講座

地域クラブの練習

指導者育成研修会

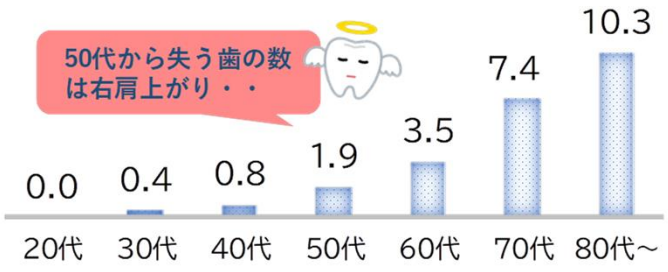
（生涯学習・スポーツ課【内3731】）

5　誰もが健康で活き活きと暮らすまちの実現

1　【新規・拡充】妊婦歯科健診・歯っぴー歯科健診への支援　（一部再掲）　４７２万円

妊娠時における重度の歯周病は、早産・低体重児出産の原因とされています。女性ホルモンの急激な増加により口腔内環境の変化が起こりやすく、むし歯や歯周病になりやすい妊婦さんに対し、歯周病予防のための歯科健診の助成を行います。

「歯っぴー歯科健診」については、新たに50歳及び60歳を助成対象として拡充し、歯の健康への自覚を促し、セルフケア、プロケアにつなげ、生活習慣病の要因となり得る歯周病等の予防を推進します。



（保健課【内5510】）

2　【新規】帯状疱疹ワクチン接種への助成　４，９１３万円

帯状疱疹ワクチン接種を希望する方が早期接種することにより罹患、重症化、後遺症の予防効果を高め、高齢者の健康維持を支援するため、定期接種対象者に加え、年齢及び期間を拡大し、主に65歳以上の方全員を対象に、令和7年度からの5年間に実施した接種費用を助成します。

・組換えワクチン	標準的な接種費用：１回	22,060円	個人負担額：１回	10,500円
・生ワクチン	標準的な接種費用：１回	8,860円	個人負担額：１回	4,000円

（保健課【内5510】）

3　【新規】高齢者の補聴器購入への支援　４５０万円

聴力機能の低下により、日常生活に支障がある高齢者の皆さんの地域社会への参加を支援し、認知症予防及びフレイル予防を図るため、補聴器の購入費用の一部を補助します。

・対象者：聴覚障害の身体障害者手帳を交付されておらず、耳鼻咽喉科の医師より補聴器の装用が必要であると診断されており、非課税世帯である65歳以上の高齢者
・補助額：購入費用の３分の１（上限３万円）

（長寿支援課【内5750】）

4　【新規・拡充】地域包括支援センターの運営と生活支援コーディネーターの設置　１億７，３０６万円

市内７カ所目の地域包括支援センターを新規開設します。高齢者の身近な相談窓口としての基本機能を果たすとともに、医療、介護等の関係機関と連携し、高齢者の自立及び重度化防止に向けた支援を行います。また、専任の生活支援コーディネーターを１カ所の地域包括支援センターに配置します。地域の実情に応じて「通いの場」の支援や介護予防の体制整備を推進するとともに、高齢者が活躍し、つながり支え合う地域づくりに取り組みます。

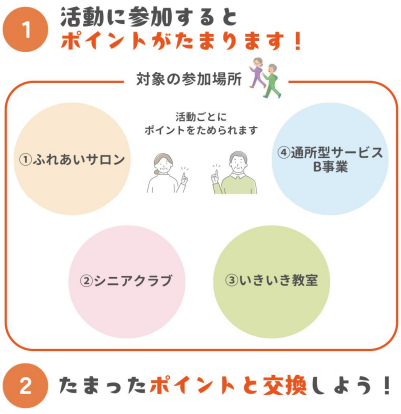
（長寿支援課【内5750】）

５　【拡充】健康ポイント事業　７２０万円

市民の皆さんを対象とした健康づくり事業のうち、体組成計等の機器を使った健康教室の参加者と、毎日一定以上の歩数を達成した人に対し地域ポイントを贈呈します。自身の体に関心を持つことや運動習慣の定着などプラステンの推進に取り組みます。

また、住民主体で開催する高齢者の「通いの場」の参加者と運営サポーターに、参加回数に応じた地域ポイントを贈呈します。高齢者のフレイル予防、社会参加、ボランティア活動の促進を目指します。

○付与ポイント
- 健康教室（機器を使用した教室）の参加者　20ポイント
- おさんぽ機能の6,000歩/日で１ポイント　8,000歩/日でさらに１ポイント（１日最大２ポイント）
- 高齢者の「通いの場」参加者　20ポイント
- フレイル予防サポーター養成講座、認知症ささえあい講座参加者　20ポイント



（保健課【内5510】・長寿支援課【内5750】）

６　【継続】介護人材確保の取組　６６０万円

介護サービス提供体制の維持に向けて、介護職場の人員を充足するため、資格取得や就労定着、働きやすい職場環境整備への支援を行います。

介護助手養成事業　80万円
介護業務未経験者や初心者を対象に介護助手の養成や資質向上に結び付く講座等を開催

介護職員研修支援補助金　40万円
市内事業所に勤める介護職員などの初任者研修や養成事業資格取得に係る費用の一部を支援

介護職員就労定着支援事業補助金　60万円
市内介護事業所に新規採用された正規職員へ、３か月継続雇用後に２万円を補助

介護福祉機器導入支援事業補助金　400万円
市内介護事業所が移動・昇降用リフトの導入をする場合、経費の２分の1以内で補助（上限額４０万円）

介護福祉士就学資金等貸付金　80万円
介護福祉士等養成学校の在学生への学費等の無利子貸付。市内の介護事業所で５年間継続勤務した場合、全額返還免除。

介護のしごと相談会
南信州広域連合等と連携し、介護の資格や経験のない人も対象に含めた「介護のしごと相談会」を開催

（長寿支援課【内5750】）

6 未来に向けた基盤整備

1 【継続】リニア駅周辺整備 １６億９，５１４万円

JR東海よりリニア中央新幹線の開業時期の延期が発表されました。飯田市では2028年度中の一部供用開始に向け、駅周辺整備を推進します。

駅前広場の整備、運営主体の形成 13億1,885万円

リニア駅前広場の活用や運営方法について考える公民連携の「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」を設立しました。

市民・事業者・専門家などが自由に参加し、意見を出し合う場として「①駅前広場の賑わいの創出」「②地元経済の好循環」「③まち全体を見るなかで駅前広場が持つべき機能」の３つの視点を大切にし、いただいたアイデアをもとに、必要な機能や施設について検討を進めていきます。

※図はイメージであり、変更になる場合もあります。

駅周辺関連道路の整備 3億7,629万円

国道及び県道を整備する長野県と連携・調整を図りながら、駅周辺の市道の工事や用地補償、埋蔵文化財の調査を進めます。

主な整備路線

- 市道上郷489号線ほか
- 市道上郷９号線ほか
- 市道上郷492号線
- 市道座光寺283号線
- リニア駅前線
- リニア駅前停車場線

（リニア整備課【内3350】）

2 【継続】リニア・三遠南信道時代を見据えた各種土地利用計画の見直し ９８５万円

土地利用基本方針に掲げる拠点集約連携型都市構造の推進と、山・里・街の豊かで多様な暮らしの実現に向けて、適正な土地利用や景観の誘導策の検討に取り組みます。

また、広域的・全市的な観点から土地利用の検討については、長野県が策定を進めている「長野県リニア駅近郊グランドデザイン(案)」との整合を図りつつ「リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン(案)」の見直しに併せて、このビジョンをより分かりやすくするため、リニア時代のまちの姿として「まちの設計図」を示します。

（地域計画課【内3770】リニア整備課【内3350】）

3 【継続】国県道整備に関連する市道整備 ２億１，８２６万円

リニア駅及び中央自動車道座光寺スマートインターチェンジを含むリニア駅周辺エリアを、地域内外への移動を円滑にするための広域交通拠点として整備を進め、自動車、鉄道、路線バス等の各種交通モードへのアクセス機能と乗換利便性を高めます。

主な整備路線

市道座光寺168号線ほか

リニア駅と高速道路を直結する道路整備をすることで、物流の効率化や地域間交流の活性化を図ります。

市道１-56号万才線ほか

隣接する高森町へのスムーズな交通確保や、応急避難施設である「エス・バード」へのアクセス向上により防災機能の強化を図ります。

市道上郷5号線、市道上郷59号線

国道153号、県道市場桜町線の道路網とあわせて整備することで、生活道路の利便性向上を図ります

（国県関連事業課【内3761】）

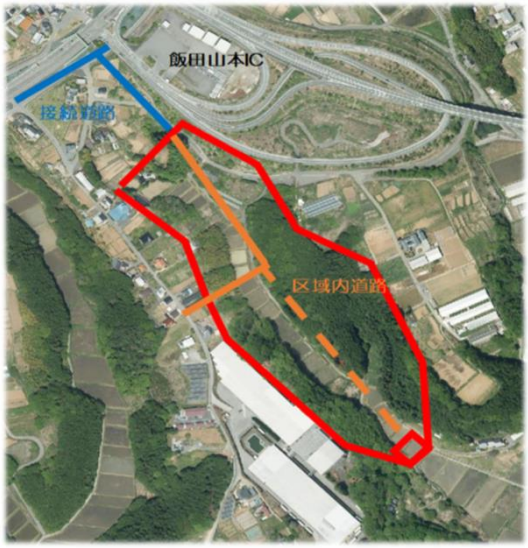
４　【新規・継続】企業誘致に向けた新たな産業用地の整備　　４億３，９４０万円

新規企業立地、既存企業の工場等拡張のための産業用地が不足するなか、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えて産業用地の整備を進めるとともに、新たな産業用地候補地の調査を行い、企業やオフィスの誘致に取り組みます。

飯田山本インター産業団地（仮称）の整備　4億3,236万円

飯田山本インター南側において新たな産業団地を整備するため、用地取得・物件補償、開発許可等の許可申請手続きを進めるとともに、リニア発生土受入のための準備を進めます。

令和７年度の予定
- 用地取得、物件補償
- 開発許可、農振除外、農地転用等の申請
- リニア発生土受入のための準備工事等
- 地区および関係機関との連絡調整会議の開催



座光寺地区産業用地候補地の検討　704万円

座光寺スマートインターチェンジ周辺への研究開発型企業・機関等の誘致に向けて、現地調査を行い企業誘致エリアや機能・役割、整備手法等の検討を進めます。

（工業課【内4433】）

５　【新規・継続】地域振興の拠点となる施設整備　　５億７，３０８万円

道の駅遠山郷の再整備　4億7,512万円

三遠南信自動車道の開通により、多くの観光客が遠山郷や天龍峡などを訪れることが予想されます。道の駅遠山郷は、「信州の南の玄関口」として観光振興、地域振興の重要な拠点施設となることから、令和７年秋のグランドオープンを目指し、施設の再整備を進めます。

（遠山郷観光振興室【内4415】）

再整備中の道の駅遠山郷

恒川官衙遺跡ガイダンス施設展示整備　9,196万円

「史跡恒川官衙遺跡」の保存活用の拠点として、令和６年度より整備に着手しているガイダンス施設の展示に向けた整備を行います。

施設では、展示を通じて史跡の歴史的な価値を分かりやすく紹介するとともに、その価値を理解し自分達で発信できる人材の育成を地域と協働して取り組みます。

（文化財保護活用課【内4242】）

恒川官衙遺跡ガイダンス施設展示イメージ

新文化会館の整備検討の推進　600万円（令和6年度7号補正）

新文化会館の整備に向けて、市民参加により策定した基本構想を具現化するために、建設候補地の選定を行うとともに基本計画づくりを進めます。

（文化会館【内4220】）

新文化会館整備検討委員会の様子

2 戦略計画における基本目標ごとの主な事業

基本目標 1
市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる

20地区の基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の自治活動の推進

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
拡充	20 地区田舎へ還ろう戦略支援事業	20地区別人口動態の現状を捉え、実態から将来予測、長期的な地域人口安定化への目標を、地域と行政で共有し、モデル地区における地区別定住促進施策を支援します。	505万円	地域自治振興課
継続	地域自治活動支援事業	20地区基本構想・基本計画の実現に向けた地域主体の取組を、自治振興センターを中心に支援します。各地区パワーアップ地域交付金を活用し、公民館等と連携した講座等の地域づくり学習会を展開します。	1億577万円	地域自治振興課
継続	地域のつながり促進	自治活動組織加入促進コーディネーター事業、自治会（隣組合）活動のご案内キャンペーンを実施します。 組合未加入者に対して防災訓練等への参加を促すことで、地域とつながるきっかけづくりと地域防災力の強化を目指します。 公民館等と連携して、組合の加入未加入を問わず、地域イベント等に参加できる機会を創出していきます。 組合未加入世帯を対象とする意識調査（アンケート）を実施し、「ゆるやかなつながり」の仕組みを検討します。	133万円	地域自治振興課
継続	多様な主体による地域課題解決支援事業	地域課題をテーマとした、まちづくり委員会と地域支援組織（団体、ＮＰＯ、コミュニティカフェ等）との学習会を開催し、具体的な地域課題解決に向けた取組を支援します。 また、ムトスぷらざを拠点として、市民団体やNPO法人等の地域をより良くするための取組のスタートアップや継続を支援します。	715万円	地域自治振興課 共生・協働推進課
継続	中山間地域振興事業	第２次中山間地域振興計画に基づき、地域の主体的な取組や農村資源を活用した起業家の育成、定住促進に向けた住宅支援の推進、地域おこし協力隊による課題解決に向けた事業展開など、地域と協働した取組を進めます。	6,162万円	結いターン移住定住推進課
継続	遠山郷振興事業	移住定住に向けた取組や高齢者・子育て世帯の暮らしを支える事業、関係人口創出のための体験プログラムなど、遠山地区が主体的に取り組む事業を支援します。	1,232万円	結いターン移住定住推進課

持続可能な地域づくりに向けた次代を担う人材を育む学習活動の支援

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	大学研究者や大学生の力を活用した地域づくり、人材育成	大学や地元社会教育機関等の研究者が持つ専門性を生かして、市民が地域の資源や特徴を捉えて学ぶ機会を通年で開催します。また、研究者とのつながりを身近に感じることができる大学連携の拠点づくりに取り組みます。 地元高校生が大学生と共に参加し、大学の学びに触れて将来への展望や地域への視点を学べるフィールドスタディを実施します。また、高校生が研究者や大学生と共に通年で継続的に学ぶ機会を作り地域の人材育成につなげます。 飯田を訪れた研究者や大学生との継続的なつながりによる関係人口化、地域との接続による連携、協働の実現に向けた取り組みを進めます。	2,124万円	大学誘致連携推進室
新規	学園地域コーディネーターの設置	「飯田学園構想」の推進に向け、９つの学園に１名ずつ「学園地域コーディネーター」を配置し、９年間でめざすこども像の協議・決定や特設教科「みらい創造科」のカリキュラムづくり等の支援を中心に学園内の小中学校間連携や各地域の連携を深めます。	637万円	学校教育課
拡充	キャリア教育学校交付金の拡充	「飯田学園構想」における小中一貫教育の充実に向け、「キャリア教育学校交付金」の対象事業に学園としての事業を加え、学園内の学校間交流や連携事業を支援します。	250万円	学校教育課
拡充	ハマコミる学習交流活動の展開	「楽しそう！面白そう！」を入口に、日常生活の中に「みんなの楽しい」を生み出すことで、暮らしの場の中で住民の皆さんの良好な関係性を育み、活動の輪が拡がるよう公民館活動を実施します。（ハマコミる＝地域活動にハマってコミットする。地域にハマってコミュニティが拡がるの意味）	1,470万円	市公民館
拡充	高校生講座の実施	次代を担う高校生を対象に、地域内外の様々な事例や関わる人の思いに触れながら、地域や自身のあり方などを考える「高校生講座」を開催し、地域に誇りと愛着を持ちながら主体的に考え行動できる人材を育みます。	572万円	市公民館
新規	中央図書館開館110周年記念事業	中央図書館開館110年のあゆみ展やシンポジウム、ミニ企画を集めた「としょかんマルシェ」、図書館PR動画制作など、本を通して学び合い、新たな交流の場をつくる取組を市民の皆さんと一緒に行います。	147万円	中央図書館
継続	歴史研究所事業	研究成果を年報や書籍にまとめて公表し、講座等の開催により学びの場を提供します。出前講座の実施により地区公民館や小中学校、高校での学習の支援をします。	648万円	歴史研究所
新規	恒川官衙遺跡ガイダンス施設展示整備	「史跡恒川官衙遺跡」の保存活用の拠点として令和6年度より整備に着手しているガイダンス施設について、展示製作を行います。施設では、展示を通じて史跡の歴史的な価値を分かりやすく紹介するとともに、その価値を理解し自分達で発信できる人材の育成を地域と協働して取り組みます。	9,196万円	文化財保護活用課

「結い」による移住定住の推進と協働による関係人口の創出

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
拡充	20 地区田舎へ還ろう戦略支援事業（再掲）	20地区別人口動態の現状を捉え、実態から将来予測、長期的な地域人口安定化への目標を、地域と行政で共有し、モデル地区における地区別定住促進施策を支援します。	505万円	地域自治振興課
継続	移住定住推進事業	ＵＩターン希望者の職・住・暮らしに関する総合的な相談支援を行い、飯田への移住定住を推進するとともに、情報発信力を強化し、関係人口を創出・拡大します。	2,806万円	結いターン移住定住推進課
継続	総合的な空き家対策事業	空き家等対策計画に基づき、空き家化予防、活用・流通の促進、適切な管理の促進、管理不全対策、跡地利用の誘導の5つの視点から、地域や事業者、各種専門家等と連携して対策事業を進めます。	1,817万円	結いターン移住定住推進課

性別や世代などの違いによる多様な価値観を互いに認め合う地域社会をつくる

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	若者を対象にしたライフデザインセミナー	高校生をはじめとする若者世代を対象にライフデザインセミナー（自分の生き方を考える講座）を実施し、男女が互いに助け合う生き方や多様な生き方を考えるとともに、飯田の子育て環境等を知る機会をつくります。	11万円	共生・協働推進課
継続	働く女性等への支援事業	仕事や家事、育児・介護等、様々な環境下の女性が、生きがいを持って暮らし、活躍できるよう、交流会や講座を通じて学びとつながりの場をつくります。	136万円	共生・協働推進課
継続	多様な世代による市民活動支援事業	若者やシニア世代をはじめとする多様な世代が行う地域活動を支援し、お互いの情報交換や学びあい、交流を推進します。	600万円	共生・協働推進課
継続	外国人住民への支援事業	外国人住民が安心して日常生活を送れるよう、交流等を通した相互理解やコミュニケーション支援の場をつくります。	689万円	共生・協働推進課

市民による文化芸術の創造

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	美術博物館展示公開事業	特別展「山とともに生きる―遠山郷のあゆみとくらし―」、企画展「高山植物と高山昆虫からたどる　南アルプス博物学の120年」、企画展「写真家60周年記念展　水谷章人の世界」「第25回現代の創造展」などの企画展示を中心に、地域の文化芸術を紹介する菱田春草常設展や伊那谷の自然と文化を発信するトピック展示を開催します。	1,915万円	美術博物館
継続	市民舞台芸術創造支援事業	舞台芸術に関わる市民が専門家を招聘して行う舞台芸術の技術向上事業及び舞台芸術の創造事業に対して、事業に要する経費の一部を支援します。	101万円	文化会館
継続	オーケストラと友に音楽祭の開催	市民が身近に音楽を楽しみ、学び、心豊かになるよう、プロオーケストラと協働して「オーケストラと友に音楽祭」を開催します。プロから直接指導を受け演奏する楽しさを学ぶ音楽クリニックや下伊那各地へ演奏を身近に届けるコンサートなどを開催します。	1,100万円	文化会館
継続	いいだ人形劇フェスタの開催	日本最大の人形劇の祭典である「いいだ人形劇フェスタ」を開催する「いいだ人形劇フェスタ実行委員会」の活動支援を通して「人形劇のまち飯田」を国内外にＰＲし、人形劇のまちづくりの推進と文化の向上を図ります。	1,830万円	文化会館
継続	新文化会館の整備検討の推進	新文化会館の整備に向けて、市民参加により策定した基本構想を具現化するために、建設候補地の選定を行うとともに基本計画づくりを進めます。また、検討状況をさまざまな手段で市民の皆さんへお伝えします。	895万円	新文化会館整備室

中心市街地の賑わいのあるまちづくり

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	りんご並木活性化事業	「憩いや集いのステージとなるりんご並木」を目指し、地域・関係団体と連携して賑わい・交流の創出に向けた歩行者天国事業や丘のまちフェスティバルを開催します。また、りんご並木沿線店舗等と共に、まちの魅力を高める取組の検討、学習会を開催します。	372万円	商業観光課
新規	三連蔵の保存・活用検討	「りんご並木三連蔵」の耐震性を調査するとともに、まちの歴史を感じさせる三連蔵の今後の保存・活用のあり方を検討していきます。	275万円	商業観光課

市民参加型情報発信の取組強化と体制づくり

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	共感を生む情報発信（魅力の発掘）	市民や事業者と連携し、「飯田焼肉」と「飯田水引」等により共有・共感を得ながら、自然や文化と組み合わせ、飯田の魅力発信につながる取組を行います。 飯田の魅力が多くの市民に共有され、共感を得られるようSNSを活用した収集・発信、動画の充実、「PR動画コンテスト」の実施から地域外の方からも共感が得られるような取組を行います。	723万円	広報ブランド推進課
継続	ふるさと飯田応援隊募集事業費	飯田市へのふるさと納税をしやすい環境を整えるため、魅力ある返礼品の開発と安定的な提供、受付サイト体制を拡充します。 また、企業と連携した取組として、企業版ふるさと納税を推進します。	2億6,895万円	広報ブランド推進課

基本目標 2
人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる

日常の地域自治活動を通した地域住民の顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力の強化

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	地域のつながり促進（再掲）	自治活動組織加入促進コーディネーター事業、自治会（隣組合）活動のご案内キャンペーンを実施します。 組合未加入者に対して防災訓練等への参加を促すことで、地域とつながるきっかけづくりと地域防災力の強化を目指します。 公民館等と連携して、組合の加入未加入を問わず、地域イベント等に参加できる機会を創出していきます。 組合未加入世帯を対象とする意識調査（アンケート）を実施し、「ゆるやかなつながり」の仕組みを検討します。	133万円	地域自治振興課
拡充	ハマコミる学習交流活動の展開（再掲）	「楽しそう！面白そう！」を入口に、日常生活の中に「みんなの楽しい」を生み出すことで、暮らしの場の中で住民の皆さんの良好な関係性を育み、活動の輪が拡がるよう公民館活動を実施します。（ハマコミる＝地域活動にハマってコミットする。地域にハマってコミュニティが拡がるの意味）	1,470万円	市公民館
継続	防災訓練への参加促進	親子で参加する防災訓練や、自主防災リーダー養成研修会等を通じて多くの市民が参加する防災訓練の取組を紹介し横展開を図ります。	30万円	危機管理課

市民一人ひとりの防災意識の向上、助け合いによる地域防災力の強化とそれらを支える公助の取組の推進

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	地震被害想定の調査（防災アセスメント調査）	令和６～７年度の２年間で市内20地区ごとの地震被害想定を調査し、その結果をもとに防災対策や自主防災組織が実施する訓練等に生かしていきます。	990万円	危機管理課
継続	個別避難計画の作成・更新	災害時の避難行動要支援者に対して、避難支援が迅速に行われ、被害を最小限に抑えるために個別避難計画を作成します。日頃から、避難行動要支援者本人の心身の状況や生活実態を把握している福祉専門職（ケアマネジャー、相談支援専門員）と協力しながら、本人や家族、地域と連携して、計画の作成・更新を進めます。	1,242万円	福祉課 危機管理課 長寿支援課
新規	耐震シェルター等の設置支援	木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事を促進するほか、建物内の安全性を高めるため、個別避難計画作成者のうち、迅速に避難ができない方に対して設備設置の助成を行います。	100万円	危機管理課
新規	遠山地域における防災備蓄品の整備	「道の駅遠山郷」を遠山地域の防災拠点と位置づけ、再整備に合わせ新たに設置する防災倉庫に遠山地域の孤立や観光客の避難等を想定した備蓄品を整備します。	933万円	危機管理課
拡充	自主防災組織に対する支援の拡充	井戸水活用のための資機材を助成対象に加えるなど、自主防災組織の防災資機材整備に対する助成の充実を図ります。	800万円	危機管理課
拡充	道路等の危険木伐採の補助	飯田市が管理する道路、河川及び水路並びに公園において、倒木の被害による発生を未然に防止するため、危険木の伐採及び除去に行う者に対し、危険木伐採事業補助金を交付します。なお、令和7年度より公園を対象施設として拡充します。	195万円	維持管理課

飯田市消防力(消防団)整備計画に基づく地域消防力の維持・向上

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
拡充	消防団詰所の整備	地域の防災拠点として重要な役割をもつ分団本部詰所の老朽化(旧耐震基準)を解消するため、施設の整備を進めます。	5,478万円	危機管理課

犯罪被害防止と消費者トラブルの未然防止

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
拡充	消費生活センター事業	身近な相談窓口である消費生活センターの相談体制を充実、強化し、市民の消費生活をサポートします。また、消費生活相談に広域的に対応します。 増加する詐欺被害や消費者トラブルを未然に防止するため、ライフステージに応じた効果的な啓発活動や関係機関と連携した啓発に取り組みます。	1,984万円	市民課

安全・安心な暮らしを支える社会基盤の長寿命化対策と強靭化

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	農業用排水路・ため池等の改良・改修	老朽化が進んだ用排水路の改良及び改修や、農業の効率化に繋がる農道の整備を行います。また、農業用水路やため池等について計画的な更新や修繕等の長寿命化対策を進めるとともに、防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画に基づき、地震耐性評価を進めます。	1億5,695万円	土木課
継続	通学路安全対策	通学路安全対策アクションプログラム及び危険箇所安全点検の調査結果に基づき、通学路の安全対策に取り組みます。また、上郷ゾーン30プラス地区において物理的デバイス等の設置により、交通安全の向上を図ります。	3億1,200万円	土木課
継続	道路・河川の防災・安全対策	防災・安全対策が必要な道路及び河川の整備を計画的に進めます。	3億3,970万円	土木課

継続	計画に基づく準用河川の適正な維持管理	令和６年度に策定予定の準用河川改修・維持管理計画（案）に基づき、準用河川の計画的な改修を行うなど、適正な維持管理に取り組みます。	1億5,370万円	土木課
継続	松尾地区の内水排除対策の強化（固定式ポンプの追加設置等）	松尾地区（祝井沢川・金色洞川）における災害時の排水課題について、適切な対応ができるよう訓練を実施し、必要な体制を確保します。また、飯田市国土強靭化地域計画に基づき、金色洞川遊水地の整備と祝井沢川固定式ポンプの設置を行います。	2億810万円	地域計画課
継続	社会インフラの長寿命化と安全対策	下水道ストックマネジメント計画や下水道総合地震対策計画に基づく管路施設の保守・点検・調査・診断を計画的に実施し、必要な更新や修繕を行います。 また、道路陥没事故を未然に防ぐため、飯田市指定緊急輸送路等を対象に、路面下空洞調査を引き続き計画的に実施します。	1億4,686万円	下水道課 維持管理課

基本目標 3
飯田(ここ)で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる

安心してこども・若者が意見表明、話し合いの場に参加することができ、その意見が反映できる仕組みづくり

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	若者の意識と生活に関するWEBアンケート調査	若者に対しWEBアンケート調査を実施し、こどもの貧困の実態を明らかにするとともに、必要な支援策を検討します。また、ヤングケアラーほか様々な困難を抱えたこども・若者の不安や悩みを把握します。	226万円	こども課
継続	若者まんなか懇話会・子育て当事者の懇話会の開催	このまちでかなえたい、「夢やライフスタイル」を語り合う『若者まんなか懇話会』や、子育て世代の声を聴く『子育て当事者の懇話会』を開催します。	18万円	こども課

妊娠、出産、子育てまでの効果的で途切れない相談・支援

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
拡充	地域こどもの生活支援事業	多様かつ複合的な困難を抱えるこどもたちに対し、安全安心で気軽に立ち寄ることができる食事等の提供場所を拡充します。	659万円	こども課
新規	結婚や子育てに温かい社会づくりへの支援	結婚や子育てに温かい社会づくりの気運を醸成する活動団体を支援します。	20万円	こども課
拡充	夏休み期間中の小学生預かり事業	夏休み期間中、保護者の就労等により、平日の昼間に児童クラブ等を利用しない小学生を対象にこどもの居場所として預かり事業を実施する民間保育所等に対して支援を行います。	52万円	保育家庭課
拡充	産前産後サポートの拡充	家事育児支援事業の対象期間を、妊娠中からこどもの年齢が１歳になる前までに延長します。また、助産師による心身のケアや授乳や育児の相談支援が受けられる産後ケア事業（宿泊型）と授乳・育児相談助成事業について、里帰り先での利用を一部可能とします。	671万円	保健課
新規	妊婦歯科健診	妊娠中は、女性ホルモンの急激な増加により口腔内環境の変化が起こりやすく、むし歯や歯周病になりやすい時期であり、妊婦における重度歯周病は早産・低体重児出産の原因となることがわかっています。妊婦の歯周病予防のため、歯科健診の助成を行います。	208万円	保健課
拡充	放課後児童クラブ等の児童受け入れ態勢の充実	保護者が仕事等により昼間家庭にいない、小学生の居場所を確保するため、放課後児童クラブ等の児童受け入れ態勢の充実を図ります。	3億3,909万円	学校教育課

地育力を活用し、地域の自然や文化、地域との関わりにより、健やかで心豊かな育ちを支える

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	いいだ型自然保育の推進	自然と地域との関わりを大切にする「いいだ型自然保育」に取り組みます。	528万円	保育家庭課
継続	保育人材確保支援事業	保育人材の確保と定着に向けた支援として、宿舎借上げ支援事業や、就職者または復職者に対して支度金を支給する民間事業者に対して支援を行います。	1,423万円	保育家庭課
拡充	学校・保育園給食への有機農産物導入の推進	市内小中学校、公立園の給食へ有機農産物や市の相互認証制度で認証された農産物を積極的に利用します。併せて、園児・児童、生徒の皆さんへの環境に配慮した農産物への理解の醸成を進めます。	300万円	農業課
拡充	部活動指導員の充実	令和８年度末までに休日部活動の地域クラブ活動への移行を目指すにあたり、指導者不足についての課題を解決するために、部活動指導員を増員し地域で活動する指導者を確保するとともに、研修会を開催して指導の質の向上を図ります。	477万円	学校教育課
新規	地域クラブ設立等への支援	現在、学校部活動で実施している種目や分野を中心に、地域クラブが持続可能な運営体制を構築できるよう、地域クラブ設立や活動の充実に必要な支援を行います。	200万円	生涯学習・スポーツ課
新規	地域クラブ活動への参加費の支援	学校部活動の地域クラブ活動への移行に伴い、参加費等保護者の負担が増加する点を考慮し、生活困窮家庭を対象に参加費の補助を行います。	120万円	生涯学習・スポーツ課

継続	学校部活動の地域クラブ活動への移行の推進	関係団体と連携して、スポーツ・文化芸術活動に親しむ機会としての体験スポーツスクールや文化講座等を開催するなど、地域の文化芸術・スポーツ環境の充実に向けて、持続可能な体制づくりを進めます。	257万円	生涯学習・スポーツ課
継続	部活動地域移行支援コーディネーターの配置	部活動地域移行支援コーディネーターを継続配置し、生徒のニーズを把握するとともに、各地区や学校、関係団体の実状に応じた地域クラブ活動への移行を進めます。	665万円	生涯学習・スポーツ課

学校の新たな枠組みとして学園構想の推進

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	学園地域コーディネーターの設置（再掲）	「飯田学園構想」の推進に向け、９つの学園に１名ずつ「学園地域コーディネーター」を配置し、９年間でめざすこども像の協議・決定や特設教科「みらい創造科」のカリキュラムづくり等の支援を中心に学園内の小中学校間連携や各地域の連携を深めます。	637万円	学校教育課
拡充	キャリア教育学校交付金の拡充（再掲）	「飯田学園構想」における小中一貫教育の充実に向け、「キャリア教育学校交付金」の対象事業に学園としての事業を加え、学園内の学校間交流や連携事業を支援します。	250万円	学校教育課

切れ目のない支援により発達特性のあるこどもや困難を抱えるこどもへの支援の拡充

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
拡充	5歳児相談事業	就学に向けて適切な支援や相談へ繋げることを目的として、社会性が伸びる時期でもある年中児を対象に「５歳児相談」を実施し、支援ニーズのあるこどもとその支援について所属園と検討します。 令和７年度は、対象を公立園に加え、民間保育所等の一部まで拡大します。	46万円	こども課
拡充	教育支援指導主事、校内中間教室支援員の増員	児童生徒の個性に応じた多様な学びの保障と不登校傾向のある児童・生徒の支援のため、教育支援指導主事を増員すると共に校内中間教室支援員を新たに配置し、校内中間教室の新設・充実を図ります。	6,686万円	学校教育課
拡充	不登校児童生徒支援事業交付金の拡充	不登校児童生徒の多様な学びの機会を支えるため、民間フリースクール等を利用する家庭に対する助成を行います。また、民間フリースクール等との連携を深め、事業運営についての相談、支援等を行っていきます。	159万円	学校教育課

こどもたちが安全・安心に生活ができる環境整備

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	公営住宅の整備	子育て世代が安全・安心して生活できるよう、公営住宅等長寿命化計画に基づき、西の原団地及び長野原団地の震災対策や２台目駐車場整備に着手するなど、子育てしやすい住環境の整備を進めます。	2億4,673万円	地域計画課
継続	こどもたちが安全・安心に利用できる公園の整備	こどもたちが安全・安心して公園が利用できるよう、公園施設長寿命化計画に基づく施設の改修及び修繕を実施します。また、風越公園の再整備に向けて関係地域及び関係機関との協議を進め、基本設計を実施します。	6,057万円	維持管理課
継続	こどもたちが安全・安心に利用できる公園の維持管理	こどもたちが安全・安心して公園が利用できるよう、施設の保守点検と清掃を実施するとともに、樹木の整枝・剪定、病害虫駆除、施設の補修や修繕を実施します。	9,341万円	維持管理課
継続	飯田子どもの森公園の管理運営	指定管理者と連携した運営により、自然や文化とふれあうことのできる様々な体験活動を実施します。また、なかまの館にエアコンを設置し、来園者が快適に利用できる環境を整備します。	7,764万円	維持管理課
継続	飯田市立動物園の管理運営	指定管理者と連携した運営により、あらゆる世代に動物とのふれあいが体験できる各種イベントを実施します。また、老朽化した施設の改修に向け、生息環境展示を基本とした動物展示の考えを取り入れ、子育てや教育の場として魅力ある施設となるよう基本設計に取り組みます。	7,175万円	維持管理課
継続	通学路安全対策（再掲）	通学路安全対策アクションプログラム及び危険箇所安全点検の調査結果に基づき、通学路の安全対策に取り組みます。また、上郷ゾーン30プラス地区において物理的デバイス等の設置により、交通安全の向上を図ります。	3億1,200万円	土木課
新規	長野県民交通災害共済会費負担金の公費負担の拡充	子育て支援の一環として、会費の公費負担対象を0歳から義務教育終了までの者に拡大します。	122万円	危機管理課
継続	かざこし子どもの森公園への空調設備の整備（再掲）	かざこし子どもの森公園「なかまの館」に空調設備を設置し、こどもの居場所づくりのための環境改善に取り組みます。	1,431万円	維持管理課
拡充	放課後児童クラブ体育室等への空調設備の整備	放課後児童クラブの体育室等に空調設備を設置し、児童の居場所づくりのための環境改善に取り組みます。	3,550万円	学校教育課

地域の高等教育に係る環境の充実

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	地域の高等教育の充実	この地域の高等教育環境の充実や４年制大学設置の可能性について、関係者との意見交換や情報収集を行います。また、地元の高等教育機関に通う学生の学びの環境の充実に向けて、資格取得に必要な費用の一部を補助します。	100万円	大学誘致連携推進室
継続	信州大学との連携の推進	信州大学による将来の学部等の設置につながるように、南信州地域が一体となって信州大学と連携し、サテライトキャンパスの充実や水循環・グリーン水素研究等を推進します。また、住民の皆さんに信州大学の先端研究や技術を知ってもらうための講演会等の開催や、地域が信州大学と連携して行う事業に対する支援を行います。	100万円	大学誘致連携推進室

基本目標 4
自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる

環境意識を高め、行動変容へつなげる「うごくる。」の充実

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	小中学校気候変動教育プログラムの導入	小中学校へ気候変動教育プログラムを導入し、地域脱炭素の将来を担う人材育成を図るとともに、児童、生徒の学びを家庭と共有し、地域、事業者へも展開することで、気候変動対策への取組の環を広げます。	231万円	ゼロカーボンシティ推進課
継続	うごくる。の取組	環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」を通じて環境文化都市の理念浸透や意識変革を市民に広く働きかけるとともに、地域資源を生かした環境学習を進めることで一人ひとりの行動変容を促します。	1,709万円	ゼロカーボンシティ推進課
新規	気候変動若者会議	10代から30代の若者が主体となり、地域の気候変動対策について議論します。持続可能なまちづくりに対する新たな視点や具体的な提案を目指して、学習や意見交換を行い、地域の未来を共に創ります。	18万円	ゼロカーボンシティ推進課

新たなリサイクルの研究などによる３Ｒのさらなる推進と資源循環の研究

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
継続	エシカル消費、食品ロス削減への取組	エシカル消費(人や社会、地域や環境に配慮した消費行動）や食品ロス削減の意識を高める普及啓発活動を推進します。学習交流や消費者教育を充実させ、更なる浸透を図るとともに、消費者の行動変容につなげるための取組を行います。	67万円	市民課
新規	信州大学との連携の推進（再掲）	信州大学と連携して、大学の持つ「信大クリスタル」や「RO膜」等の水の浄化技術を活用した水の循環利用の社会実装に向けた研究を行うとともに、研究成果を実社会で生かす実証タウンの形成に取り組みます。	100万円	大学誘致連携推進室
新規	「雑紙は資源にしよう！」啓発事業	燃やすごみに多く含まれているリサイクル可能な雑紙について、資源としての出し方を記載した手提げの紙袋を市民に配布することで、雑紙を分別して排出する意識を啓発し、リサイクルの推進と燃やすごみの削減を図ります。	140万円	環境課

省エネルギーの促進と地域産再生可能エネルギーの創出、利活用の推進

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	飯田市におけるグリーン水素の利活用に向けた計画の策定	信州大学のグリーン水素研究を核として、地域が自立してエネルギーの生成、供給及び消費を完結する世界に先駆けた新たな仕組み「エネルギーの域産域消の飯田モデル」の構築するために飯田市におけるグリーン水素の利活用の計画を策定します。	600万円	ゼロカーボンシティ推進課 工業課 大学誘致連携推進室
新規	飯田版デマンドレスポンス普及促進事業	令和４年11月に「脱炭素先行地域」として国の選定を受けた脱炭素先行地域づくり事業において、中部電力ミライズが提供するデマンドレスポンスサービス「ＮＡＣＨＡＲＧＥ」の取組に地域ポイントを連携させ、市民の省エネ意欲を高める取組を行います。	150万円	ゼロカーボンシティ推進課
新規	中小企業等エネルギーコスト削減促進事業	事業活動に係るエネルギーコストの削減のため、省エネ効果の高い設備への更新や太陽光発電設備等の導入を支援することにより、脱炭素経営を推進し、産業競争力の強化を図ります。	6,830万円	ゼロカーボンシティ推進課

生物多様性と自然環境の保全推進

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	ネイチャーポジティブ生物調査	ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向け、当市に生息する生物や生態系の特徴などの基礎となる調査を行います。	100万円	環境課
継続	スマートフォンアプリを用いた生物調査	生物の名前をAIで判定するスマートフォンアプリを利用した市民参加型の生物調査を行い、身近な自然環境に関心をもっていただく契機とします。	134万円	環境課
継続	エコパーク・ジオパーク推進事業	関係団体と連携し、ユネスコエコパーク・日本ジオパークの現地講座、普及啓発イベントなどを行うことにより、南アルプスと遠山郷の持つ大地、自然、文化といった貴重な資源の魅力とその価値について、より一層の認知度向上を図ります。	130万円	環境課

デジタル技術を活用したエネルギーなどの見える化

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	二酸化炭素排出量可視化支援事業	エネルギーコストの高騰に直面する事業者に対し、エネルギーコストとCO_2排出量の「見える化」、削減目標の設定、削減策提案等の支援を行うことで脱炭素経営を推進し、産業競争力の強化を図ります。	237万円	ゼロカーボンシティ推進課
新規	飯田版デマンドレスポンス普及促進事業（再掲）	令和４年11月に「脱炭素先行地域」として国の選定を受けた脱炭素先行地域づくり事業において、中部電力ミライズが提供するデマンドレスポンスサービス「ＮＡＣＨＡＲＧＥ」の取組に地域ポイントを連携させ、市民の省エネ意欲を高める取組を行います。	150万円	ゼロカーボンシティ推進課

基本目標５
誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる

地域産業を支える担い手・企業人材の育成・確保

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	回帰定着率向上の取組	地域産業を支える若者の人材確保を目指し、飯田職業安定協会と連携して企業の採用活動を支援します。令和７年度は、東海エリアに進学した学生を主な対象とした「飯田下伊那合同企業説明会in名古屋」の開催やインスタグラムによる学生への情報発信に新たに取組みます。	61万円	産業振興課
拡充	多様な働き方の実現に向けた取組（自営型テレワーカー養成講座）	子育てや介護などの理由で一時的に職を離れた女性が、テレワーカーとして必要な能力やデジタルスキルを学び、就業するまでを支援するセミナーを開催します。	1,223万円	産業振興課
拡充	アウトソーシング促進事業	市内の事業者の人材不足を補うために、企業のアウトソーシングの活用による業務効率化の促進に取り組みます。アウトソーシングの活用方法や有効性への理解を深めるためのセミナーや個別相談を実施します。	120万円	産業振興課
新規	地域産業を支える人材の確保に向けた取組	従業員の奨学金返還を肩代わりする市内事業者に対して、返還費用の一部を補助することにより、人材確保の取組を支援します。	60万円	産業振興課
継続	起業家育成支援事業	飯田市新事業創出支援協議会（I-Port）の機能活用と、ビジネスプランコンペティションの開催を通して、起業家の創出と育成、新事業創出、事業転換を目指す事業者を支援します。	919万円	工業課
継続	新規就農者育成	３大都市圏等の都市住民の飯田市への移住就農が進むように「地域おこし協力隊」の制度を活用した農業研修や、親元就農を支援します。	1,840万円	農業課
新規	信州大学次世代空モビリティシステム共同研究講座	信州大学南信州・飯田サテライトキャンパス（エス・バード）で開講する信州大学次世代空モビリティシステム共同研究講座の運営を支援し、産業人材の育成や企業の研究開発等を支援します。	1,100万円	工業課
拡充	意欲ある農業者支援	事業兼業農家・小規模農家に対して、経営改善のための農業施設・機械導入に係る経費の一部を補助することにより、就農の継続を支援します。	1,200万円	農業課

地域の資源を生かした新産業・脱炭素社会への挑戦と地域産業の高付加価値化の推進

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	J-クレジット創出・活用事業	森林のCO_2の吸収機能に明確な価値を付けることによって、飯田市の豊富な森林資源を新たな観点から活用するため、上村しらびそ高原付近の市有林において、令和7年度のJ-クレジット制度への登録、令和８年度の認証・クレジット発行、売却開始を目指した取組を進めます。	993万円	林務課
新規	飯田市における水素の利活用に向けた計画の策定（再掲）	信州大学のグリーン水素研究を核として、地域が自立してエネルギーの生成、供給及び消費を完結する世界に先駆けた新たな仕組み「エネルギーの域産域消の飯田モデル」の構築するために飯田市におけるグリーン水素の利活用の計画を策定します。	600万円	ゼロカーボンシティ推進課 工業課 大学誘致連携推進室
拡充	新産業創出支援事業	次世代エアモビリティ・航空機電動化等の製品・技術開発及び販路開拓や、製造業における省力化・生産性向上に向けＩｏＴ、ＡＩ、ロボット化など生産性向上に取り組む事業者を支援します。また、今後の利活用が期待される水素関連産業への参入支援と利活用に向けた可能性調査を実施します。	960万円	工業課

多様な主体が参画した取組によるサステナブルツーリズムの推進

	事業名称	事業の概要	予算額	所管課
新規	滞在交流型観光の推進	「いいだツーリズムビジョン」を踏まえて取り組む関係人口の創出に向け、地域の人・生活・文化などに触れ、飯田らしさが体験できる観光コンテンツづくりや、推進人材・受け皿となる地域プレイヤーの確保、育成を行い滞在交流型観光を推進します。	917万円	商業観光課
継続	豊かな自然環境を活用した観光の推進	名勝天龍峡や西部山麓エリアに広がる自然環境、周辺の地域資源を活用した周遊観光やサイクルツーリズムを進めるとともに、安全・快適に楽しめる環境づくり、受入体制の強化に地域や関係団体、事業者等と協働して取り組みます。	1,423万円	商業観光課